



2026年2月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集 特別委員会

第8回定例会、議員賛否	P2	総務文教常任委員会	P9
→一般会計補正予算	P3	市民福祉常任委員会	P10
第7回臨時会	P4	産業建設常任委員会	P11
→一般質問	P5～8	議員活動紹介・編集後記	P12

■千葉 邦夫さん撮影(角館町白岩)
「白岩城址燈火祭」(今年は2月7日開催)

— 第8回 (11月) 定例会 —

桧木内地区の大雨災害への義援金全国各地から支援!

令和7年は、市制20周年の記念すべき年でありましたが、8月の大雨災害やクマの人里への大量出沒による人身被害など災害対応に追われた1年でもありました。令和8年は、全ての市民の皆さまが幸福をたくさん感じられる1年になるよう市議会も全力で邁進してまいります。

さて、令和7年最後となる第8回定例会が、11月28日から12月19日まで22日間の会期で開催され、専決処分関係1件、条例関係10件、予算関係17件、その他2件、議員提出議案2件の計32件が審議され、すべての議案が可決されました。

議員提出議案(第5号・第6号)2件共可決される

【第5号】仙北市議会委員会条例の改正

令和8年4月の改選から議員定数が16から15に減少することに伴い、常任委員会を再編する条例改正です。

改正前	改正後
①総務文教常任委員会 6人	①総務産業常任委員会 8人
②市民福祉常任委員会 5人	②教育厚生常任委員会 7人
③産業建設常任委員会 5人	
◆予算常任委員会 15人	◆予算常任委員会 14人

【第6号】ハラスメント実態調査特別委員会の設置

8月の記録的大雨で被災した上桧木内地区の避難所で自主的にボランティアに参加した仙北市議会議員が市や社協の職員に対し、パワハラ的な言動をしたとして、議長が注意したとの報告を受けた。しかし、どのような言動かなどの事実関係が確認されていないことから、実態を調査する特別委員会を設置することが可決されました。

- ◆委員長 田口 寿宜議員
- ◆副委員長 荒木田俊一議員
- 他6名の 全8名の特別委員会

公用車カーナビのNHK受信料 46台11年分支払い

- ・公用車のカーナビはテレビ受信機能があれば、NHK受信料が発生するが、仙北市はこれまで支払っていなかった。
- ・秋田県での未払い報道により仙北市も未払いに気づいた。

対象車 46台
未払い額 262万3千円(平成26年～令和6年分)

- ・今年度以降、テレビ受信が可能な車は市長車、副市長車、議長車の3台のみとした。

角館樺細工伝承館の物販・喫茶の使用料減額

- ・物販→総売上の100分の6.18を3.5に改正
- ・喫茶→総売上の100分の7.21を3.5に改正

【質疑応答】

質問 他の業者の参入も見込める好立地で、使用料を減額した公平性と透明性に疑問を感じる。

答弁 経費節減や販促に努力しており、伝統工芸、観光振興の公益性、他施設事例等を総合的に判断した。

質問 そもそも、この使用料の仕組みが理解できない。

答弁 物販、喫茶の業者は双方とも納得している。

議決結果/議員賛否 令和7年 第8回 仙北市議会定例会(招集日:11月28日 最終日:12月19日)

凡例:賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席 除→除斥(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	議決月日	議決結果	蒼生会					せん新成く		公明党	共産党	無会派		
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁	中村和彦	西宮三春	熊谷一夫	平岡裕子	荒木田俊一
議案第132号	令和7年度仙北市一般会計補正予算(第13号)	12/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
請願第2号	仙北市社会福祉協議会への財政支援についての請願書	12/19	不採択	反	反	反	賛	除	反	反	反	反	反	賛	反
"議員提出議案第6号"	ハラスメント実態調査特別委員会の設置に関する決議	12/19	可決	全会一致						除	全会一致				

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和7年度 一般会計補正額11億8,960万7千円を可決 累計294億6,010万1千円に 子育て支援拡充等の補正予算可決（おむつ無償化&子ども2万円支給）

令和7年度 一般会計補正予算(第11号・第12号・第13号・第14号)の主な事業

有害鳥獣駆除事業費	130万円	クマ出没時における現地派遣職員の防護装備品の購入（各市民センターへ）
有害鳥獣誘引樹木伐採補助金	300万円	柿や栗の樹木を伐採する補助金（伐採費と運搬処理費それぞれ2万5千円上限）
児童派遣費補助金	104万円	角館小学校マーチングバンド全国大会出場への補助金
生徒派遣費補助金	202万円	角館中学校男子駅伝部及び男子剣道部の全国大会出場への補助金
車両維持管理費	164万円	公用車のカーナビに係るNHK受信料（市長部局27台分）
埋蔵文化財調査事業費	△3,424万円	田沢湖ハーブ園周辺の試掘調査を市職員が直轄で実施したことなどによる調査委託料等の減額
保育所等おむつ無償化事業費	127万円	認可保育施設の2歳児までが使用する紙おむつ無償化の委託料
物価高対応子育て応援手当支給事業費	4,763万円	高校生年代までの子ども1人当たり2万円を年度内に支給
物価高対応重点支援交付金支給事業費	2,397万円	住民税非課税世帯に6,100円の灯油購入補助金を2月中に支給
障害者支援施設等物価高対策事業費	228万円	障害者支援施設に光熱水費、食材費の支援金を2月中に支給
介護保険施設等物価高対策事業費	2,117万円	介護保険施設に光熱水費、食材費の支援金を2月中に支給
保育所等給食費価格高騰対策事業費	179万円	認定こども園に食材費の支援金を2月中に支給

保育園・認定こども園でのおむつが無料に!

これまで、各家庭で名前を記入して、持参していた紙おむつが、これからの準備が順調であれば、2月から、それぞれの保育施設で紙おむつを持参しなくても、無料で使用可能となります。

- ◆仙北市内に住所がある0～2歳児が対象
- ◆紙おむつのメーカーは1種類のみ
- ◆肌に合わない場合は持参（支援は検討中）
- ◆サイズは自由に選べる
- ◆対象者はクラスで区切る
- ◆在宅での子育てにはおむつ支援はない

国が子育て世帯に物価高支援(1人2万円支給)

国の経済対策の柱とした「物価高対応」を盛り込んだ2025年度補正予算が12月16日に国会で成立したことから、仙北市の11月定例会最終日（12/19）に子ども1人当たり2万円支給などの追加補正予算（第14号）が提案され、全会一致で可決されました。

- ◆令和7年9月に児童手当が支給された子ども&令和8年3月31日までに出生した子どもが対象（約2,260人を予定）
- ◆年度内の支給を目指して準備中
- ◆全額国が負担（国庫補助金）

国の物価高対応交付金を活用した商品券支給

国の経済対策の柱である「物価高対応」として、全国の自治体が自由に使える「重点支援地方交付金」が仙北市にも交付されました。

仙北市の「重点支援地方交付金」の活用予定

- 【第1弾】住民税非課税世帯に1世帯6,100円の灯油購入補助金を支給します。（2月を予定）
- 【第2弾】市民全員に商品券(1万5千円分)を支給する予定です。
- 【第3弾】中学生及び小学生の給食費無償化を検討中です。

— 令和8年度から小学生・中学生共に給食費が無料になる予定 —

— 第7回臨時会 (11/6開催) —

10月19日実施の仙北市長選挙で再選された田口知明市長の2期目の市政が10月30日からスタートしました。11月6日には、田口市長の2期目として初の議会（臨時）が開催され、8月の記録的大雨による災害復旧費やふるさと納税の寄付金見込みを増額するなどの令和7年度一般会計補正予算（第10号）や温泉事業会計補正予算（第1号）などが審議され、すべての議案が可決されました。

令和7年度 一般会計補正額13億9,496万3千円を可決 累計282億7,049万4千円に ふるさと納税寄付金 35 億円を見込む！！（お米の返礼品が大人気）

令和7年度一般会計補正予算(第10号)の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	8億円	ふるさと納税の寄付金の増額を見込む（今年度合計35億円）
ふるさと納税仙北魅力発信事業費	4億円	ふるさと納税の返礼品等の事業費
大雨災害復旧事業費	912万円	大雨災害により被害を受けた方への義援金配分に係る事業費
道路維持補修費	583万円	田沢湖卒田舟山地下道の排水ポンプの老朽取替え
農業用施設災害復旧事業費	1億322万円	大雨災害により被害を受けた農地・農業用施設災害復旧補助金
現年補助災害復旧事業費	3,300万円	大雨災害により被害を受けた大地田農村公園災害復旧工事費
公共土木施設災害復旧事業費	329万円	大雨災害により被害を受けた河川、橋りょうの復旧工事費
総務施設災害復旧事業費	4,049万円	大雨災害により被害を受けた紙風船館復旧工事費

田口知明市長 2期目の所信表明

10月の選挙で市民の皆さまから再び市長にお選びいただき、10月30日より2期目の市政をスタートさせていただいた。

2期目も人口減少をはじめ、急激な出生数減少による少子化への対策や、市立病院の経営改善、豪雨や火山噴火などの自然災害への備えや、老朽化した公共施設と共に増加している空き家への対応強化、より一層の産業振興の実現など、仙北市が直面している課題は山積しているが、「逃げない」「隠さない」「嘘をつかない」という市長としての決意をもって課題に向き合い、改善、解決していく所存である。

高久議員失職に伴う 議会運営委員の指名

高久昭二氏が10月の市長選出馬により自動失職したことに伴い、空席となった議会運営委員は、議長の指名により、小田島広仁議員が選任されました。

令和7年最後の議会 第8回(11月)定例会を振り返って

令和7年の最後となる「第8回定例会」が12月19日に閉会しました。特筆すべきは、一般質問における質問項目です。なんと、8人の質問者で7人が今年度廃止された防災無線関連で、6人がクマ対策関連を取り上げたことです。これほど質問が集中したことは初めてです！

今後のクマ対策について

- ◆クマ捕獲用の箱わなは、現在39基保有しているが来年度に10基増設して49基保有予定である。
- ◆ガバメントハンター（公務員ハンター）は、来年度、県に3名要望している。
- ◆有害鳥獣被害対策実施隊員（猟友会員）は、田沢湖地区41名、西木地区45名、角館地区17名の合計103名である。
- ◆有害鳥獣被害対策実施隊員（猟友会員）の各種報酬の増額を来年度行う予定である。

防災無線の再運用は検討していない！

- ◆旧防災行政無線はデジタル化が必要で、その費用に21億6千万必要であることから、廃止して現行の「@せんぼく」にすることを議会で議決している。再運用は検討していない。
- ◆7時、12時、17時のチャイムの要望には、現行の「@せんぼく」の戸別受信機でチャイムを鳴らすことが出来るので検討する。
- ◆現行の「@せんぼく」の戸別受信機の貸与条件を緩和しているので、総合防災課に相談していただきたい。



蒼生会
真崎 寿浩 議員

クマの異常出没に対する対策について

質問 熊の個体数が増加している中で、次期シーズンに向けての対策はどのように考えているのか。また、都市型クマ増加に伴い、防獣対策グッズ（鈴、撃退スプレー等）購入に対して助成金等を行うべきと考えるがどうか。

答弁 特定鳥獣の出没頻度が高まっている現状を踏まえ、予防対策と万が一の事象対応を一本化した対策を推進したい。

特定鳥獣管理計画の推進に伴い、市の実情に即した地域社会の安全と生態系の保全の両立を図っていく。

次期対策の柱として、家庭や地域から餌となり得る資源を減らすことを最優先に、市民の皆さまから管理いただくよう、関連機関と協力して周知していく。

都市型クマの出没が増加する状況ではあるが、現時点においては、防獣対策グッズの購入を市が助成する考えはないが、今後の情勢や他自治体の取り組み事例、有効性

の検証結果次第では、検討したい。

質問 捕獲用檻等の数量は十分か。追加する必要性はないか。鳥獣被害対策実施隊員等の活動について、人員の増加や報酬・手当の更なる拡充をすべきと考えるがどうか。

答弁 有害捕獲で使用の箱わなは、現在39基を猟友会へ貸与している。年次計画により、今後も追加する予定でいる。3地区で103名の方に活動していただいているが、実施隊員の人員増加を目指し、仙北市広報等で周知していく。報酬や手当等の拡充については、令和8年度当初予算に盛り込む予定で、今後具体的に検討していく。



■現在39基保有のクマ捕獲用の箱わな
来年度は10基増設予定

【その他の質問】

◆非常時の情報伝達方法の見直しについて（防災無線復活等）



新成せんぼく
小田島広仁 議員

仙北市立病院について

質問 「仙北市立病院の経営・医療提供状況について分析する」というレポートはどのような存在か。また、その中に「角館総合病院の経営改善への提案として健康診断事業の拡充」「職員を市内で受診するよう誘導すべき」との提案があるが、職員の市立病院での人間ドッグ受診者数と対応について伺う。

答弁 レポートは病院事業の経営改革、財政健全化を検討する上で貴重な資料である。職員の人間ドッグ受診者は286人、角館総合病院での受診者5名、田沢湖病院での受診者3名、合計8名である。一人でも多くの職員から市立病院で受診してもらう取組が必要であり、周知、PRについて検討する。

防災無線の復活について

質問 防災無線が廃止され不便になったとの声が多い。復活ができないか。また、戸別受信機の在庫状況はどうなっているのか。

答弁 防災無線は議会の議決を経て廃止した経緯があるので、再び運用することは検討していない。戸別受信機は約500台を配布し、約500台残っている。



■貸与条件が緩和されている
新型の戸別受信機

質問 不便になったとお話の中でチャイム等を復活して欲しいとの声が多い。戸別受信機は外でも使えるので、チャイム等を流せないか。また、在庫があるので、商店、企業等が必要とする方々に配布してはどうか。

答弁（危機管理監）チャイム等を流すことは技術的に可能である。需要や「うるさい」等の苦情がないかを含め検討する。また、追加申込を実施中なので、年明けに残数を勘案し、幅広く貸与させていただきたいと思う。

【その他の質問】

◆クマ等の鳥獣対策について
◆幸福度日本一に近づくために



澤田 雅亮 議員

病児保育の進捗状況について

【質問】 具体的なスケジュールは。

【答弁】 病児保育所は令和9年度の開設を目標に、令和8年度に申請、令和9年度に改修・用途変更を行う予定である。

防災無線について

【質問】 防災無線を再設置することは可能か。

【答弁】 防災無線の復活にはデジタル化が必要で、少なくとも21億円以上の費用が見込まれ、現実的な財源確保は困難である。

猟友会とクマ対策の

これからについて

【質問】 緊急銃猟を実施する際、現場を支える猟友会員をどう守り、どう支援していくのか。

【答弁】 市は、猟友会を中核とした体制を維持しつつ、緊急銃猟への対応強化と担い手支援のあり方を今後検討していく方針である。

【質問】 通学路の安全確保をどう考えているか。

【答弁】 (教育長) 通学路点検にクマ

対策の視点を新たに加え、関係機関と連携しながら見直し改善と安全確保を強化していく。

移住・定住と

地域おこし協力隊について

【質問】 移住施策の実績評価、空き家バンクの情報不足、協力隊の役割明確化・副業容認・募集枠拡大について市の考えは。

【答弁】 移住体験の強化を入口に、空き家活用と協力体制を連動させ、定住に繋げていく方針である。

今後のまちづくりと長期滞在型観光への取り組みについて

【質問】 クマ出没による夜間経済への影響を踏まえ、提灯による明かりの演出を活用した低コストなまちづくりと、その効果・予算・市の考えを問う。

【答弁】 夜間経済への影響は国の対策を活用しつつ、提灯によるまちづくりは商業者主導・市後援の形で慎重に検討していく。

【質問】 長期滞在型観光への転換は。

【答弁】 台湾青年団の受け入れを契機に、地域資源を生かした長期滞在型観光の体制整備と商品造成を進めるが、現時点で新たな補助制度は考えていない。



日本共産党 平岡 裕子 議員

学校給食費無償化について

【質問】 国では小学校給食費基準額を月額4,700円としているが、本市では月額いくらか。

【答弁】 (教育長) 一食当たり単価325円としている。保護者負担を283円に据え置いて、値上げ分42円を市が負担軽減無償化としている。月額約5,146円である。

【質問】 市は、親の負担を求めず、無償化とする予算措置ができるのか。

【答弁】 国が小学校の給食費を無償化していく方針を出したので、もし4,700円を頭打ちとすれば、一部負担になるので無償化という表現には当たらない。国の指針、ルールが示されていないので国の動向を見ていく。

【質問】 国では、公立小学校に続いて、公立中学校給食費も無償化にするとしているが、本市では、小学校と同時に実施できないか。

【答弁】 (教育長) 市単独での助成には慎重な財政検討が必要だが、今後、国の動向を見据えて実現に向けて検討したい。

国保基金を活用して国保税の負担軽減を

【質問】 厚労省では、令和9年4月から、均等割税の半額を国が1/2、県・市が1/4の助成を一年生から18歳まで拡大するとしている。対象人数と税負担額を伺う。

【答弁】 10月末現在、一年生から18歳までの被保険者は146人となり現行2万7千円なので軽減1/2になると197万1千円が軽減される見込みである。

【質問】 基金を活用して、すぐにも一年生から18歳までの被保険者の均等割税1/2を負担軽減できないか。

【答弁】 (市民福祉部長) 現時点では想定していない。対象年齢拡大について関係機関を通じて国に要望していく。

【その他の質問】

◆インターナショナルスクール誘致事業について

◆助成制度の見直し・再創設について (住宅リフォーム はりきゅうマッソージ・加齢性難聴者補聴器購入助成)

◆市管理地維持について



田口 寿宜 議員

ハラスメント対策について

質問 ハラスメント対策条例の制定に向けての動きはどのようなになっているのか。

答弁 現在の状況は、条例案を事務レベルで検討し、草案が出来上がっている。今後、精査を行い、次期定例議会に提案するべく準備を進めている。尚、条例案には職員のみならず、市長を含む特別職や議員も対象とした条例案を検討している。

学校適正配置について

質問 中学校の統合について、生保内地区の方から不安な声が聞かれ、より丁寧な説明を重ねていくようである。小学校は残るが、中学校一つが無くなる事により、地域の衰退を危惧する方々が多いように感じる。この不安を解消し、理解をいただく上で必要な事は、当局と保護者・地域住民が対話を重ねながら地域のビジョンを創り、そこに向かって協働で歩んでいく事であると考える。まちづくりと連動している事を鑑み、こ

のような方向で進むべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 (教育長) 生保内地区の保護者や地域住民の中には、統合によって様々な教育効果に期待を寄せる意見がある一方で、中学校が無くなれば子どもを育てやすい環境が後退し、地域の衰退に繋がっていくのではないかと不安視する意見も寄せられている。教育委員会としては、そうした市民の意見をしっかりと受け止め、市当局と連携し、学校適正配置を進めていきたいと考えている。

ただ、一つ伝えたいのは、教育委員会であるので、まずは子どもファーストで考えていかなければいけないと考えている。明日の未来を築くためには、やはり、子どもへの幸せがなければ築く事が出来ないとと思う。その部分も踏まえながら丁寧に住民、保護者と意見交換会をしていきたいと考えている。

【その他の質問】

- ◆病院事業経営健全化計画策定事業について
- ◆防災無線について



新成せんぼく
西宮 三春 議員

多様な働き方の推進について

質問 ※スポットワーク自治体協定締結に期待する課題解決について伺う。

答弁 観光繁忙期・農繁期の人手不足を柔軟に補えること、学生・主婦等の就労機会の拡大、事業者の採用コスト削減が考えられる。

質問 スポットワーク導入企業に対する支援について伺う。

答弁 市内事業者向けの登録説明会の開催が見込まれており、応募しやすい情報提供ができるように支援したい。

クマ等への安全対策に向けた支援策について

質問 子どもたちの遊び場確保について伺う。

答弁 クマの出没状況や今年度の施設開放の利用状況を踏まえて検討し、子どもたちが安心して施設を利用する方のニーズに応えることができるように進めていく。

質問 安心して学校で待機できる環境整備と、送迎増加による保護者の収入減等への調査や支援策に

ついて伺う。

答弁 各地区の学校安全ボランティアと連携し、学校・家庭・地域が一体となった見守り体制を継続し、保護者・教職員の負担軽減に努める。保護者へアンケートを実施し、来年度以降の通学支援策を検討する。

質問 西明寺栗・雲然柿の守り方について伺う。

答弁 鳥獣被害対策実施隊など関係機関の力を借りながら、安全かつ迅速な対応に努める。



■クマ出没でも子どもたちが安心して遊べるように

用語解説

※スポットワーク：数時間・数日単位で単発・短期で働く働き方

【その他の質問】

- ◆戸別受信機の普及について
- ◆さんすうボックス学校備品化について
- ◆水循環型シャワーについて



蒼生会
高橋 輝彦 議員

田口市政二期目の

取り組みは！

質問 再選後に「人口が減っても市民が幸せに暮らせるまちづくりを進める。」との決意に共感した。最も力を入れることは何か。

答弁 市民の命と生活を守ること。を最優先に、今後の4年間を第2の創成期と位置づけ、未来に希望が持てるまちを市民と共に創っていく。

質問 クマ対策で自衛隊、県警の活用は考えているか。また、公務員ハンターを採用してどうか。

答弁 自衛隊、県警ハンターは猟友会にも相談し、活躍の場はないと判断した。公務員ハンターは、県に来年3名要望している。

質問 ドロインを活用して、クマオンの自炊棟を宿泊施設にするのが嫌がる猟犬の声や花火の音を出との進捗を伺う。

答弁 老朽化が激しく、6,200万円の改修費が積算され、現状では時期尚早と判断した。

◆人工衛星を活用した水道管の漏水調査について



蒼生会
武藤 義彦 議員

災害対応での課題は

質問 豪雨災害時の初動対応での問題点は。

答弁 短時間での降雨により、木内川も想定外の速さで水位上昇し、国道も氾濫による通行止めとなったことから、災害対応の職員を増強できず被害状況の把握に時間を要した。また、避難所対応職員も、初動時点で氾濫と通行止めの影響により不足する事態となり、今後の現場対応における反省点と考えている。

質問 職員不足を理由とする対応等の改善策が必要ではないか。また、被災状況は職員間で情報共有されていたのか。

答弁 気象台から事前に情報収集し、氾濫や通行止め発生前に職員を動員し、職員不足で市民へ不安を与えることのないように努める。また、今回の大雨では、短時間での被害発生となりタイムリーな情報共有が出来なかった。今後は、情報共有の遅延が出ないようネットワークの整備を検討する。

◆クマ対策について



■8月の豪雨災害から復旧が進む紙風船館

質問 災害対応等には全庁体制で取り組むべきではないか。

答弁 (危機管理監) 今後は、電話対応も含め、全庁を挙げて連絡網を駆使し、担当部局のみならず全部局横断して現地へ出向していただけるよう努める。

質問 避難所の状況や物資不足等は災害対策本部と共有されていないとの苦情もあったが、本部への要請や直接交渉の可能な人材配置も必要ではないか。

答弁 (危機管理監) 避難所の職員派遣については、今回の反省点・課題として、地元職員に偏ることなくより一層強化する。

◆空き家対策について

総務文教常任委員会

法人市民税及び固定資産税過誤納税等還付金570万円計上

11月定例会の総務文教常任委員会では、仙北市北浦教育文化研究所設置条例の一部を改正についてと、令和7年度一般会計補正予算などが審査されました。

令和7年度 総務文教関係の一般会計補正予算（第13号）主な内容

スクールバス管理費	9万円	スクールバスのカーナビに係る NHK 受信料（過去 11 年分） 【教育委員会】
車両維持管理費	165万円	公用車のカーナビに係る NHK 受信料（過去 11 年分他） 【市長部局】
過誤納税還付金	570万円	過年度分の法人市民税及び固定資産税の課税誤りによる還付金
生活路線代替バス運行費	151万円	西木デマンド交通利用者増による増額（豪雨災害等対策）
市議会議員選挙費	491万円	令和8年4月12日投開票の市議会議員選挙の入場券・ポスター看板作成等経費

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆スクールバス管理費

質問 NHK 受信装置の撤去はどのように行ったか。

答弁 カーナビに内蔵されているテレビ受信装置を業者に委託して撤去した。

◆過誤納税還付金

質問 法人市民税、固定資産税の件数はどれくらいか。

答弁 法人市民税と見込んでいた 46 件の不足分。また、令和 6 年度から継続している固定資産税課税誤りに係る税額構成に伴う還付で新たに見込んでいる件数として 75 件である。

質問 法人市民税については予定納税があり確定して還付になるが、固定資産税について何故誤りがあるのか、いつになれば正しい賦課徴収になるのか、対策等があるのか伺う。

答弁 最大、過去 10 年分遡って返還している。入力作業時のミスがあり再発防止策を作って対策を強化しているところである。

■主な議案質疑

【議案第 131 号】仙北市北浦教育文化研究所設置条例の一部を改正する条例制定について

当局の説明

北浦教育文化研究所は現在西木庁舎で業務に当たっている。今般、庁舎再編に関連して令和 8 年 2 月に予定している仙北市役所上野庁舎竣工にあたり、教育委員会事務局を西木庁舎から上野庁舎へ移転することから、北浦教育文化研究所の位置を上野庁舎の位置と同じところに改めるものである。

質問 上野庁舎の開庁スケジュールはどうなっているか。

答弁 2 月 24 日開庁予定である。前日までの 3 連休を利用して引越しする予定である。

※総務文教常任委員会への付託議案は全会一致ですべて可とすべきものと決定…本会議でも原案通り可決。

【請願第 1 号】「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する請願書

◆会期中に審査を終了することができないので、閉会中も継続審査を要することから継続審査とする。

(門脇 晃幸 記)

市民福祉常任委員会

新規事業 保育所等おむつ無償化事業費127万円を計上

11月定例会の市民福祉常任委員会では、令和7年度一般会計補正予算、仙北市国民年金保険特別会計補正予算、仙北市介護保険特別会計補正予算、仙北市病院事業会計補正予算等について審査されました。

令和7年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算（13号） 主な内容

健康増進センター運営費	22万円	田沢湖歯科診療所所長室を設置したための暖房費
後期高齢者医療短期人間ドッグ助成費	42万円	利用者増により20人分を増額
保育所等おむつ無償化事業費	127万円	おむつを保育所等で準備する新規事業2～3月分の経費
病院事業経営健全化計画策定事業費	4万円	2月に開催される講習会へ参加するための交通費、受講費
後期高齢者健康診査等事業費	22万円	個別検診の受診者増により20人分を増額

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆健康増進センター管理運営費について

質問 健康増進センター内の一室に田沢湖歯科診療所の所長室を設けたことによる暖房費とのことであったが、算出方法はどのようになっているのか。

答弁 田沢湖病院では一括して全館暖房をしており、院内に隣接する健康増進センターと歯科診療所で暖房費を面積割で支払う形である。

◆保育所等おむつ無償化事業費について

質問 契約先は1社とのことだがどこなのか。また、補正予算額で足りるのか。おむつの種類は選べるのか。

答弁 契約先についてはまだ決まっていない。これから条件付き一般競争入札を行い、契約を進めることになる。2月、3月分を想定した補正額であり、不足しないと考えている。複数のメーカーのおむつを扱っている会社は今のところ無いので、おむつのサイズ別はあると思うが、種類は一種類になると想定している。

質問 これから見積もりを取って契約先を決め、2月から実施するとのスケジュールとのことだが、補正予算額で足りる根拠は何か。また、2月から実施できるのか。

答弁 既に複数の会社から見積もりを徴収しており、その金額を参考にして予算額を算出している。本定例会で補正予算が可決されてから入札の準備になるので、順調にいけば2月実施に間に合う予定ではあるが、3月からの開始になる可能性もあると考えている。契約内容はサブスクリプションでの契約を考えており、1人1ヶ月いくらという形で契約する予定である。

質問 保育所に入らないで、在宅で子育てされている方もいるが、そのような方へのおむつ代の支援はないのか。

答弁 対象は仙北市内の保育園、認定こども園に入所し、市内に住所がある0歳から2歳であり、在宅で子育てされている方への補助は現在のところ考えていない。

請願第2号 仙北市社会福祉協議会への財政支援についての請願書について

仙北市社会福祉協議会の職員とその家族からの提出であるが、内容を見る限り財政状況がひっ迫している要因や、組織内で意見集約がされているのか等、不透明な部分がある。独立した社会福祉法人である社会福祉協議会の内部で、もう一度深く協議すべき事案であるとの意見があり、採決の結果、全会一致で不採択すべきものと決定した。

(小田島 広仁 記)

産業建設常任委員会

角館樺細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部改正 年間使用料を総売上げの6.18%から3.5%に改正

11月定例会の産業建設常任委員会では、角館樺細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部改正、公の施設の指定管理者の指定期間変更、令和7年度一般会計補正予算、温泉事業会計補正予算等について審査されました。

令和7年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算(第13号)の主な内容

農地利用最適化交付金事業費	429万円	農業委員、農地利用最適化推進委員に係る報酬
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金(R.7大雨)農業	65万円	大雨被害を受けた農業生産機械修繕への補助金
夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金	1,439万円	牛舎改修及びスマート農業機械導入に係る補助金
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金(R.7大雨)水産	165万円	大雨被害を受けた養殖幼魚購入等への補助金
冬期交通対策費	2,782万円	大雨災害復旧に緊急流用した差額分の補正
埋蔵文化財調査事業費	▲3,424万円	潟前地区試掘調査終了による委託料の減額

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金について

質問 申請件数は。

答弁 対象経費195万1千円の3分の1で、農業者3人、11件分の各種農業用機械と設備等である。

◆花葉館施設整備事業費について

質問 今後も経年劣化による修繕が想定されるが、修繕計画はあるのか。

答弁 設備修繕の計画書は現在作成していない。

◆冬期交通対策費について

質問 大雨災害復旧に緊急流用したとのことだが、激甚災害指定の対象になるのか。

答弁 激甚災害は公共災害であり、今回は一般財源を流用したものであり対象とはならない。

◆埋蔵文化財調査事業費の減額について

質問 試掘調査で何かが見つかり、さらに調査しなければならないところまで見越した予算計上だったのか。

答弁 全体面積の10%以上が調査対象だったが、さらに調査する経費は見越していない。

質問 予算化の時点で十分な検討や調整がなされたのか、また、予算の立て方に問題はなかったか。

答弁 8月末までに1,800㎡を1.5m掘る試算で、基礎となる書類が後から見つかり、県文化財保護室に確認し結果的に縮小可能となった。

主な議案質疑

議案第130号 角館樺細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について

質問 年間使用料を総売上げの6.18%から3.5%に改めた場合、どの程度の減額か。また、経営改善に向けた具体的内容は。

答弁 令和6年度の計算では、3.5%で約90万円の減額になる。経営改善に向けては、SNS等での広報とオリジナル商品の企画・販売等により2度3度と足を運んでもらえる取り組みを強化していく。

(武藤 義彦 記)

仙北市議会の議員活動紹介

仙北市議団 台湾表敬訪問

10月30日～11月2日の日程で議員10名が、台湾を表敬訪問してきました。

永年交流のある台湾の北投温泉の一大イベントである北投温泉祭りでは、北投石が結ぶ温泉提携で親交が深く大歓迎を受けました。新北投駅前広場等で開催され、日本からも玉川温泉の他、愛媛県道後温泉、群馬県草津温泉、山口県湯田温泉など、多数の有名温泉地が参加する国際色豊かなイベントでした。



台湾北投温泉祭りのパレード参加半てん着用で仙北市をPR

パレード、晩餐会においては仙北市・仙北市議団も紹介いただき、台湾市民、イベント関係者へもPRすることができたと思います。仙北市議会の半纏を着て参加したものの、他の団体と比べると目立たなかったように思います。アピール用の横幕のぼりが必要であったと反省しています。

北投温泉祭りの総会長である

周水美さんをはじめ、関係者の皆様には大変お世話になりました。今後ともこの交流が末永く発展していくよう尽力したいと感じました。

もう一つの目的である、昭和62年に田沢湖と澄清湖が姉妹湖提携を結んで以来、お互いに交流を進めてきた、台湾の9割の水を供給している自來水公司という国営事業体を表敬訪問してきました。たくさんの方々の歓迎を受けました。これまでの交流の成果を垣間見ることができ、今後とも変わらぬ友情を築き上げていきたくと思います。



大歓迎を受けた北投温泉祭り交流会
北投石が結ぶ玉川温泉との深い友情を感じました



国営の水道事業を担う自來水公司でも交流を深めてきました

市民参加の表紙の写真

No.6

千葉 邦夫さん
(角館町白岩)
市民提供の表紙写真の第6弾は、角館町白岩の千葉 邦夫さんです。

「若いころから写真を写すのが好きでしたが、50歳頃から本腰を入れて撮影するようになりました。好きなのは、四季折々の風景写真ですが、人物やこまちなどの列車も撮影します。今回は、毎年2月第一土曜日に開催する『白岩城址燈火祭』の幻想的な館山のかがり火の様子です。今年は2月7日(土)に開催しますので、是非見に行ってください。」(本人談)



千葉さんが制作した白岩焼

千葉さんは、「白岩焼陶芸塾」の塾長として、古白岩焼の復元を成し遂げ、塾生と共に、毎年小学生にろくろを使った白岩焼体験教室を指導しております。こうした活躍により令和2年度に「地域輝き表彰」を受賞されています。

編集後記

国の方針により公立小学校給食費無償化が実現の運びとなり、本市もいよいよと期待が高まっている中で、実施4か月前に予算査定作業中でも国からの指針が示されず見通しが立っていないと、質問に困惑した様子が答弁から察することができました。「中学校も早く実現して」と願う声に、是非応えてほしいものです。

クマの出没・大雨災害を経験し防災無線に関わる一般質問が多く、市民の安全・安心を願う声の高まりを感じた11月定例会でした。

クマの怖さと隣合わせの日常生活で、子どもたちからは、思いつき走り回れる場所が欲しい。散歩や集まりに出かけるのもままならず、健康寿命延伸から遠ざかる不安をほやく高齢者のことばに、「何か対策を」一石投じられた思いがします。即決に至らなくても対話の中から、可能性の糸口が見えてきそうなきがします。ご意見お寄せください。

(平岡裕子委員長記)